



2019.12.5

No. 311

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

藤盛敏弘

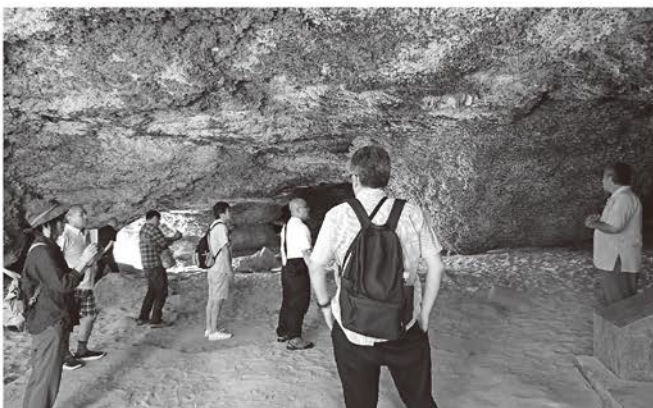
T060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

2019平和行動 in 沖縄に「北海道代表団」を派遣

連合北海道は、11月7日～10日の日程で沖縄県に15人の北海道代表団を派遣した。例年、平和オキナワ集会は6月23日の「慰霊の日」を中心に実施しているが、今年は第25回参議院議員選挙があったため、6月の集会は代表者の派遣にとどめ、改めて連合北海道独自の取り組みをこの時期に実施した。

今回の平和行動は、伊江島の戦跡をはじめ、道の駅かでな、ひめゆり資料館、平和祈念資料館などを見学した。また、普天間飛行場の米海兵輸送機MV22オスプレイの訓練移転が、来年1月から3月の間に道内で行われる日米共同訓練で計画されていることから、演習地に予定されている地域の参加者代表は普天間基地周辺も視察した。

平和行動1日目は、各空港から那覇空港に到着し、北海道代表団の結団式を行った。2日目は伊江島に渡航し、島内各所を伊江島観光バスの山城克己代表に案内していただいた。山城代表は、「伊江島は“沖縄の縮図”と呼ばれている。伊江島を見れば、沖縄の基地・観光・農業など、沖縄の構造がわかる」と、ニャティヤ洞(千人洞)や芳魂之塔、被爆慰霊碑など、限られた時間のなかで10ヶ所近くの名所を案内した。また、「住民は好き好んで基地を提供したわけではない。銃とブルドーザーで追い出されたが、それでも自分の土地だと主張して基地の中に黙認耕作地を作った」日米合同委員会で返還合意がされているが、未だに伊江島の3分の1は基地が残っている。なぜ返還されないか。返還合意の但し書き



には代替の基地を提供することになっている。普天間も辺野古ができれば返還と言っているが、但し書きは8つもあり、そのうちの1つには那覇空港を提供しろとなっている。いろんな問題が絡み合っていて簡単に解決できないことが多い」など、米軍基地があるがゆえの課題や葛藤、そして、決して諦めない強い思いが語られた。

伊江島には反戦平和資料館をはじめ、アーニー・パイル記念碑やニャティヤ洞など、沖縄を一周しなければ見ることのできないものが伊江島にあることを紹介していただき、改めて「沖縄の縮図」として、初めて沖縄を訪れた参加者を含む代表団は沖縄で起きていることの現実を学習した。

3日目は道の駅かでな、ひめゆり資料館、平和祈念資料館を見学、普天間基地周辺を視察する班は、普天間第二小学校・佐喜眞美術館・嘉数高台にて普天間飛行場に配備されているMV22オスプレイを視察した。また、2004

年に米軍ヘリコプターが墜落した沖縄国際大学を視察し、改めてひとたび墜落事故が起きれば住民の平穏な日常生活に被害をもたらすものであることを確認した。

3日目の夜には解団式を行い、参加者からは、「山城代表が言っていた平和運動に宗教の違いも労働組合の違いもないということが印象的だった」「戦争を良しとする教育にしてはならないと改めて感じた」「実際に自分の目で見て肌で感じるのが大事だと思った」などの感想が出され、平和行動すべての行程を終えた。

沖縄の米軍基地問題を解決する道は「米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の見直し」の実現にこそあると改めて認識し、連合北海道は来年予定されている日米共同訓練の規模縮小とオスプレイ参加の反対運動を展開していく。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=4314>

道内食材評価に向けた学習・試食会を開催

11月6日、連合北海道と食・みどり・水を守る道民の会は、労働者（消費者）が北海道の生産者が提供する安心安全で食味の高い道産品を再認識し、率先した購入・消費による地産地消の促進と北海道の一次産業の活性化を目的に「道内食材評価に向けた学習・試食会ーおいしい。あんぜん。北海道2019～生産者の想いを道民に～」を開催した。本事業は2018年から始まり、今年で2回目を迎えた。

前段の学習では、「美味しい北海道の食材や安全性が危機に!?異常気象や大型貿易協定発効が及ぼす農業への影響と農連の役割」と題し、北海道農民連盟の中原書記長から講演を受けた。中原書記長は、ここ数年、異常気象による自然災害の頻発が農業に大きな被害を与えているとし、今年10月21日に発生した台風19号では農林水産関係被害は1,223億円に及んでいることが報告された。同時に、国際貿易協定による農畜産物の影響試算では、最大1,100億円の生産額減少、特に牛肉は474

億円の生産額の減少が見込まれると指摘した。そうした中、北海道農民連盟は、国の農政に対し、政策提言・要請などの運動を展開するとともに、道庁をはじめ、JA道中央会などの各種農業団体と連携を図りながら農民のための組織運動を行っていることが報告された。

試食会では、玉葱のパートフィロ包み焼き、じゃがいものクリームグラタン、長イモの牛肉巻きフライ、鰻のパンチェッタ焼き、ハスカップのシフォンケーキなどが提供され、参加者たちは安全な道産食品による料理を楽しんだ。また、ピアノ演奏やマジックショーが披露されたほか、生産者たちから食材の紹介や美味しい食べ方の紹介があり、盛会のうちに終了した。

連合北海道と食・みどり・水を守る道民の会は、今後も地元で生産されたものを地元で消費する地産地消の取り組みと、国内産の消費拡大を着実に進めていく。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=4310>



連合北海道結成30周年記念事業「政策ビジョン研究団」報告

- 日 程 2019年9月29日(日)～10月7日(月)
- 日 数 9日間
- 視察先 スイス・オーストリア・ポーランド

結成30周年記念「連合北海道政策ビジョン研究団」について

連合北海道は2020年2月、結成30周年を迎えます。今般、30周年記念事業の一環として「政策ビジョン研究団」を欧州に派遣し、連合北海道と産別・地協の役員が、連合のめざす目標と価値観を共有しつつ次なるステップに向けて連携強化をはかり、経済のグローバル化や国際関係の変化、人口構造の変化等に伴う労働や社会の諸課題について、「外から日本・北海道を見つめる」ことにより、2035年を展望した政策・制度の創造につなげていくことを目的とします。

視察の概要

■ 1. ILO (国際労働機関)【スイス・ジュネーブ】

ILO創立100周年。「仕事の未来に向けて」連合・労働組合の役割を考える

- 日 時/2019年10月1日(火) 10:00～12:00
- 場 所/スイス・ジュネーブ ILO本部
- 対 応/ILO事務局次長付 上級顧問 妹尾吉洋(せのおよしひろ)様
ILO人材開発局 政策担当官 中井麻祐子(なかいまゆこ)様
- 内 容/①レクチャー:テーマ「ILO100周年にあたっての今後の取り組み」②意見交換
- 概 要/ILO本部から創立100周年にあたっての今後の取り組みについて説明を受けた後、それぞれの職場・労働組合から質問・意見、職場での課題について発言し意見交換を行った。



活発な意見交換が行われた



左が中井氏、右が妹尾氏



100周年を記念し、創立からの年次が記されたカーペット

■ 2. 国際連合(国連欧州本部)

激動の世紀を伝える歴史の舞台上で世界の平和を考える

- 日 時/2019年10月1日(火) 14:00～
- 場 所/スイス・ジュネーブ(パレ・デ・ナシオン)
- 対 応/ビジター向けツアー
- 概 要/現地ガイド及びビジター向けツアーにより国連の概要、施設内部等について説明を受けたが、日本語ガイドではないため、十分な理解に及ばなかった。



地雷で足を失った人を象徴する国連本部前広場のモニュメント

3. ウィーン市の公共交通【オーストリア・ウィーン】

QOL(Quality of Living)世界一のまちで充実した公共交通を体験する

- 日 時／2019年10月2日(水)14:00～
- 場 所／オーストリア・ウィーン⇒バーデン
- 対 応／ウィーン工科大学交通研究所研究員 柴山多佳児(しばやまたける)氏
- 内 容／ウィーンのTram-Train(路面電車)・近郊鉄道網による公共交通の視察
- 概 要／ウィーンとバーデン間のトラムトレインや最新鋭の通勤電車に乗車するとともに、パークアンドライドに対応するインターモーダルターミナルを視察して、公共交通機関の高い利便性を体験するとともに、車に依存しない都市の公共交通のあり方やまちづくりについて、北海道や札幌などと対比しつつ考察した。



バーデン行きトラムトレイン



トラムトレイン車内
乗車したら自分で切符に刻印する



バーデン駅のインターモーダルターミナル
駐車場と列車ホームが同じ高さで直結



841台収容の自転車駐輪場
説明するウィーン工科大の柴山先生



CityJet車内はWi-Fi完備
広いデッキは車いす、自転車が乗せられる



ユニバーサル対応の広いトイレを完備

4. アウシュビッツ強制収容所【ポーランド・オシフィエンチム】

「負の遺産」アウシュビッツで戦争の愚かさ知る

- 日 時／2019年10月4日(金)9:30～
- 場 所／ポーランド・オシフィエンチム
- 概 要／ナチスドイツによる大量殺戮(ホロコースト)の現場、アウシュビッツ強制収容所を訪れ、現地ガイドの説明を聞きながら戦争の悲惨さ、悔恨を後世に伝える意味と私たちの役割について考えた。

「ARBEIT MACHT FREI」のアーチをくぐり
第1強制収容所の博物館へ



12月の主な動き

- 2日(月)14:00
地方連合会代表者会議／浦安
- 3日(火)10:00
中央委員会／浦安
- 10日(火)13:30
食・みどり・水を守る道民の会総会／ガーデンパレス
- 11日(水)12:00
労働相談周知街宣／札幌紀伊國屋前
- 12日(木)10:00～13日(金)
全国一斉労働相談ダイヤル／連合北海道事務所
- 14日(土)13:00
北海道ブロック女性会議／TKP

- 14日(土)13:30
地域ユニオン第20回定期大会／TKP
- 16日(月)14:00
中小・パート労働条件委員会／
連合北海道会議室
- 17日(火)10:15
第3回執行委員会／連合北海道会議室
- 17日(火)13:30
第75回地方委員会／ニューオータニ
- 17日(火)15:30
第2回地協事務局長会議／ニューオータニ
- 19日(木)13:30
中央執行委員会／連合会館

イベントカレンダー

- 23日(月)13:30
第1回最賃対策委員会／連合北海道会議室
- 27日(金)12:00
御用納め

各地協定期総会

- 7日(土)13:30
上川地協定期総会／旭川市
- 7日(土)13:30
宗谷地協定期総会／稚内市
- 7日(土)13:30
釧根地協定期総会／釧路市